

# 親子のちから

親を介護しながら働く人の仕事と介護の両立を支援します

要介護・要介護認定者は年々増加し、2020年時点で約680万人に達しています。団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、さらに増加すると想定されます。親の介護を理由とする離職者は年間約10万人発生しており、もしも親御さまが要介護状態になってしまったら仕事と介護の両立はととても大変です。

そんな不安を軽減するために今から準備しておきたい保険「親子のちから」(親介護費用補償特約セット団体総合保険)のご案内です。

Point

1

## 介護サービス利用にかかる費用を補償

公的介護保険には利用限度額があり、サービス範囲も限られています。公的介護利用限度額超過分・対象外サービス分を補償します。

公的介護制度の詳細は、こちらをご確認ください→



YouTube  
損保ジャパン  
公式チャンネル

Point

2

## 要介護 1 から補償

介護が必要となった主な原因は認知症が最多。※1

重度認知症がある介護は、認知症がない介護と比較すると2倍以上の費用が発生します。※2

※1 厚生労働省「2019年国民生活基礎調査の概況」 ※2 公益社団法人家計経済研究所「在宅介護にかかる総費用・時間の実態」  
厚生労働省「平成24年～25年度認知症者の生活実態調査結果」

Point

3

## 認知機能低下の予防から介護まで幅広くサポート

介護関連サービスの情報を網羅したWEBサービス「SOMPO笑顔倶楽部」を利用することができます。

詳細についてはパンフレットをお配りしています。  
東京土建中野支部までお問合せください。

☎03-3388-5441 中野区松が丘1-8-4